



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月14日

上場会社名 株式会社東天紅 上場取引所 東
 コード番号 8181 URL http://www.totenko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久
 問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)福岡 廉雄 (TEL)03(3828)6272
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	2,830	△7.2	△266	—	△293	—	△345	—
26年2月期第2四半期	3,049	△8.0	△109	—	△121	—	△132	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△13.47	—
26年2月期第2四半期	△5.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	13,814	8,528	61.7
26年2月期	13,705	8,869	64.7

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 8,528百万円 26年2月期 8,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00			
27年2月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△5.1	△250	—	△300	—	2,800	—	108.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期2Q	25,728,716株	26年2月期	25,728,716株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	39,691株	26年2月期	38,426株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期2Q	25,689,782株	26年2月期2Q	25,691,764株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(5) 継続企業の前提に関する注記	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) セグメント情報等	9
(8) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による金融緩和をはじめとする積極的な経済政策を背景に、緩やかな回復傾向が見られたものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が見られるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況のもとで、当社は、営業力強化による黒字転換を目指して諸活動に取り組んでまいりました。

まず、セールス活動の再構築と徹底強化により、宴会売上の確保に努めました。既存顧客の囲い込みに加え、官公庁・各種団体、業績好調な業種などの新規開拓セールスを継続的に実行してまいりました。

次に、婚礼ブランド「LUCIS (ルーキス)」「Coeur et Coeur (クーレクール)」「LA VIE CLAIR (ラ ヴィ クレール)」に加え、他の店舗においても、好調に推移しております顔合わせ、食事会、二次会等の婚礼事業のさらなる強化を図りました。

さらに、平成26年5月より改装に着手いたしました「オペラシティ東天紅」は、9月にリニューアルオープンし、順調に推移しております。なお、この改装時期にあわせて、「オペラシティ海燕亭」を閉店いたしました。

そして、昨年より着手しております新「上野本店」の建設は、順調に推移しており、来年、平成27年初めの竣工を目指し、宴会セールス、婚礼予約等の営業活動を中心として開店準備を進めております。

しかしながら、景気回復を実感するには至らず、また新「上野本店」建設工事の影響などもあり、主力の宴会部門、婚礼部門共に売上高の減少となった結果、当第2四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比7.2%減の28億3,094万円、営業損失は2億6,632万円(前年同四半期は営業損失1億985万円)、経常損失は2億9,301万円(前年同四半期は経常損失1億2,120万円)、四半期純損失は3億4,596万円(前年同四半期は四半期純損失1億3,283万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1億857万円増加しました。

これは主に、四半期純損失の計上等により現金預金が1億1,703万円減少となったものの、繰延税金資産を1億9,435万円計上したことなどにより流動資産が6,852万円の増加、固定資産は有形固定資産の償却並びに差入保証金の返還等による減少があったものの、繰延税金資産を2,824万円計上したことなどにより4,004万円増加いたしました。

負債は、前事業年度末に比べ4億4,954万円増加いたしました。

これは主に、借入金が新規実行により5億1,855万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ3億4,097万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失3億4,596万円を計上したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間の現金及び同等物(以下「資金」という。)は3億1,476万円となり、前事業年度末と比較して1億1,703万円の減少となりました。

これは税引前四半期純損失5億7,639万円の計上(前年同四半期は税引前四半期純損失1億2,150万円)、減価償却費並びに事業構造改革による固定資産の除却計上、借入金の実行等によるものであります。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果使用した資金は4億1,554万円となりました。(前年同四半期は9,518万円の支出)

これは主に税引前四半期純損失の計上、減価償却費並びに事業構造改革費用の計上等によるものであります。

投資活動により使用した資金は2億1,426万円となりました。(前年同四半期は2,261万円の支出)

これは主に有形固定資産取得による支出等によるものであります。

財務活動により得られた資金は5億1,277万円となりました。(前年同四半期は1,789万円の収入)

これは主に借入金の新規実施によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年10月14日公表の「特別損失及び繰延税金資産の計上並びに平成27年2月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	431,801	314,767
売掛金	239,427	242,406
商品及び製品	8,185	7,216
原材料及び貯蔵品	77,418	88,974
繰延税金資産	572,989	767,343
その他	108,383	86,022
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,437,904	1,506,430
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,130,567	1,069,453
土地	8,000,415	8,000,415
その他(純額)	1,161,326	1,216,789
有形固定資産合計	10,292,309	10,286,658
無形固定資産	1,303	1,193
投資その他の資産		
差入保証金	1,695,142	1,690,032
投資有価証券	140,515	135,635
繰延税金資産	-	28,247
その他	139,355	166,907
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,974,414	2,020,223
固定資産合計	12,268,027	12,308,074
資産合計	13,705,931	13,814,505
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,337	89,255
短期借入金	1,690,500	2,327,500
リース債務	9,934	9,489
未払法人税等	37,000	27,200
賞与引当金	64,000	66,713
資産除去債務	35,000	35,000
その他	733,020	754,269
流動負債合計	2,692,793	3,309,427
固定負債		
長期借入金	530,925	412,475
リース債務	14,054	9,310
繰延税金負債	20,894	-
再評価に係る繰延税金負債	833,504	825,142
退職給付引当金	523,574	508,937
資産除去債務	5,200	5,200
長期未払金	140,194	140,194
その他	75,000	75,000
固定負債合計	2,143,348	1,976,259
負債合計	4,836,142	5,285,687

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	945,751	599,790
自己株式	△8,914	△9,144
株主資本合計	10,070,616	9,724,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37,797	34,654
土地再評価差額金	△1,238,625	△1,230,263
評価・換算差額等合計	△1,200,827	△1,195,608
純資産合計	8,869,789	8,528,817
負債純資産合計	13,705,931	13,814,505

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	3,049,463	2,830,945
売上原価	1,426,493	1,366,135
売上総利益	1,622,969	1,464,810
販売費及び一般管理費	1,732,823	1,731,133
営業損失(△)	△109,853	△266,323
営業外収益		
受取利息	69	44
受取配当金	1,937	2,254
未回収商品券受入益	828	617
保険配当金	1,285	1,467
その他	1,066	905
営業外収益合計	5,187	5,290
営業外費用		
支払利息	15,572	16,247
設備休止費用	-	14,938
その他	965	794
営業外費用合計	16,537	31,980
経常損失(△)	△121,203	△293,013
特別損失		
固定資産除却損	306	479
店舗閉鎖損失	-	33,176
事業構造改革費用	-	249,721
特別損失合計	306	283,377
税引前四半期純損失(△)	△121,509	△576,391
法人税、住民税及び事業税	11,328	11,328
法人税等調整額	-	△241,759
法人税等合計	11,328	△230,431
四半期純損失(△)	△132,838	△345,960

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△121,509	△576,391
減価償却費	83,034	73,476
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,200	2,713
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,363	△14,637
受取利息及び受取配当金	△2,007	△2,298
支払利息	15,572	16,247
固定資産除却損	112	107
店舗閉鎖損失	-	10,157
事業構造改革費用	-	109,051
売上債権の増減額(△は増加)	△5,562	△2,979
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,974	△10,587
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,254	△34,082
未払金の増減額(△は減少)	△15,767	11,504
その他	△1,743	38,898
小計	△60,937	△378,819
利息及び配当金の受取額	2,007	2,298
利息の支払額	△14,428	△16,374
法人税等の支払額	△21,825	△22,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	△95,183	△415,549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,483	△192,558
差入保証金の差入による支出	-	△614
差入保証金の回収による収入	5,688	5,724
その他	△16,816	△26,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,611	△214,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△5,634	△5,189
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	650,000
長期借入れによる収入	200,000	-
長期借入金の返済による支出	△176,225	△131,450
自己株式の取得による支出	△238	△229
配当金の支払額	△9	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,892	512,779
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△99,902	△117,034
現金及び現金同等物の期首残高	700,445	431,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	600,543	314,767

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

該当事項はありません。

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。